

【商業科・事務情報科】 3年次 【選択】科目 「英語表現Ⅰ」授業のシラバス

1 概 要

教科名	外国語科	科目名	英語表現Ⅰ	単位数	2（70）
科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。				
教科書 (出版社)	SELECT English ExpressionⅠ New Edition (三省堂)		副教材 (出版社)	改訂版 Listening Laboratory Basic α (数研出版)	

2 学習の方法

(1) 予習について

教科書を元にして授業を進めていきます。予習として、単元の文法項目をチェックするなど事前に取り組んでください。初めはこれまでに学習した内容も出てきますので、予習というよりは復習を兼ねたものになります。これから新しく学習する内容も、もちろん、予習をしてから授業に臨むようにしてください。

(2) 授業について

英語表現の授業は、主に英語を用いた表現（書くこと・話すこと）に重点を置いて学習をします。単元で学習した文法項目等を、言語活動を通じて理解を深め、それを基に英作文を書いたり、口頭で発表したりして授業を進めます。また、副教材を用いて、「話すこと」と関わりの大きい「聞くこと」についても演習を重ねます。

(3) 復習について

どの科目についても言えることではありますが、毎回の授業で学習した内容をその日の内に振り返ってください。それでもわからない場合はそのままにせず、教科担任（あるいは外国語科の先生方）に積極的に質問をし、必ず次のステップへ進むための準備を怠らないようにしてください。

〈学習アドバイス〉

英語は「実技教科」です。赤ちゃんが言葉を覚えることができるのは、その言葉を日常的に聞いて音を覚え、わからないなりに声に出して自分の意思を伝えようとするのを繰り返すからです。英語の学習方法には様々なものがありますが、英語表現Ⅰでは、「インプットしたもの（学習した知識）を必ずアウトプットする（声や文字にして相手に伝える）」ことに重点を置いて、授業を進行させます。ですから、授業内で中心となる「書く」活動や「話す」活動に積極的に取り組むことで、みなさんの英語力は必ず向上します。間違ふことや恥ずかしいと思う気持ちを捨てて、仲間や先生方と楽しく英語を学習しましょう。

加えて、英語はもはや暗記教科ではありません。英単語には「イメージ」があります。スペルと意味を丸暗記するというよりは、イメージから意味を想像できるようになると、後に応用力が育まれ、幅広いレベルの英語に対応できる力を身につけることができます。まずは、あなた自身の英語の学習方法から見直してみてもいいですか？

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
① コミュニケーションへの関心・意欲・態度	積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ることができる。
② 外国語の表現	話したり書いたりして、情報や考えを適切に伝えることができる。
③ 外国語の理解	聞いたり読んだりして、情報や考えを的確に理解することができる。
④ 言語や文化への知識・理解	言語やその運用についての知識を身につけ、背景にある文化を理解することができる。

(2) 評価の方法（以下観点①～④は「(1) 評価の観点」と対応する）

観 点	評価材料		定期考査・確認テスト 実力テスト	Hyper Listeni ng	Speak ing Test	Essay Writing	Individual Work	Pair/Group Work
	割合							
① コミュニケーションへの関心・意欲・態度	25%	×	定期考査ではなく、授業内での取り組み、スピーキングテストやプレゼンテーションで評価をします。	○	◎		○	◎
② 外国語の表現	25%	◎	特定の場面やテーマに応じた内容の英作文を、学習した文法や表現を用いて適切に書くことができる。		◎	◎	◎	◎
③ 外国語の理解	25%	◎	日常の様々な場面で交わされる英語での会話を聞き取り、的確に理解することができる。	◎			◎	◎
④ 言語や文化への知識・理解	25%	○	英語が持つ言語的性質を理解し、英作文や英会話の際に適切に運用することができる。	○	○	◎	◎	○

〈担当者からのメッセージ〉

- ・授業中、学習と関係のない私語は厳禁です。
- ・定期考査は、筆記試験とリスニング試験がそれぞれ5割ずつの割合で出題をします。授業で学習した内容から幅広く出題します。
- ・ライティングやスピーキングテスト、プレゼンテーションの評価の方法や基準については、授業の中で事前に周知をします。
- ・英作文等の課題が出された際には、提出期限をしっかりと守ってください。
- ・授業で使用する教材を忘れてきた者は、授業が始まる前に教科担任に申し出てください。

【商業科・事務情報科】 3年次 【選択】科目 「英語表現Ⅰ」授業のシラバス

4 授業計画

月	単元	時数	学習内容	観点別 評価	到達目標	考查等
前期 4	スターになって自己紹介	3	自己紹介ゲーム	①②③④	自己紹介が出来る。	前期中間考查
	Lesson 1 New Friends はじめまして	3	興味あるものを言う	①②③④	興味あるものを言うことが出来る。	
5	Lesson 2: Free Time フリースタイム	4	余暇について話す	①②③④	余暇について話すことが出来る。	
	Lesson 3: Are you okay? 元気?	4	体調や体調についてのアド バイス話す	①②③④	体調や体調についてのアドバイスが 出来る。	
6	Lesson 4: Our School 私たちの学校	4	学校について話す	①②③④	学校について話すことが出来る。	
	Lesson 5: Weather 天気・気候	4	天気・天候について話す	①②③④	天気・天候について話すことが出来る。	
7	Lesson 6: TV Programs 好きな番組	8	自分の好みを言う	①②③④	自分の好みを言うことが出来る	
8	Lesson 7: Talking on a Cell Phone 携帯電話	4	都合をたずねる、待ち合わせ をする(今話せるか、電源を 切る、メールなど携帯電話特 有の表現)	①②③④	都合をたずねる、待ち合わせを することが出来る(今話せるか、 電源を切る、メールなど携帯 電話特有の表現)	前期期末考查
9	Lesson 8: Telling the Way 道案内	8	道をたずねる	①②③④	道をたずねることが出来る。	
後期 10	Lesson 9: Kyoto 観光案内	10	乗り物での行き方をたずね る	①②③④	乗り物での行き方をたずねる ことが出来る。	後期中間考查
11	Lesson 10: Shopping 買い物	5	欲しいものを言う	①②③④	欲しいものを言うことが出来る。	
	Lesson 11: Restaurant 食事	5	食事を注文する	①②③④	食事を注文することが出来る。	
12	Lesson 12: Making a Plan 約束	6	誘う、誘いに応じる	①②③④	誘う、誘いに応じることが出来る。	
1	Lesson 13: Future Jobs 将来やりたいこと	2	なりたい職業について話す	①②③④	なりたい職業について話す ことが出来る。	
2						
3		計70				

※ 評価の観点①はコミュニケーションへの関心・意欲・態度、②は外国語の表現、③は外国語の理解、④は言語や文化への知識・理解を表しています。

※ 授業計画は進度により前後することがあります。